



居場所のない 子ども達のために

～子どもシェルター「ピピオの家」開設5周年～



予約不要
入場無料

2016年

4月24日(日)

午後1時30分～午後5時
開場/午後1時

日時

会場

広島市青少年センター

広島市中区基町5番61号 TEL 082-228-0447



第1部

今年も演劇が帰ってきます！

午後1時30分～
舟入・沼田高校 演劇部と
弁護士らによる演劇

『はばたけピピオ！
パート7
～ひなばとの星空～』

(脚本 那須寛、蓮見和章)

第2部

高校生と
弁護士のフリートーク

午後3時30分～
フリートーク/
「10代と考える子どもシェルター」
出演者/舟入高校、
沼田高校の皆さん

弁護士 武田 京子
弁護士 近藤 剛史



主催 広島弁護士会
広島市中区上八丁堀2番73号 TEL 082-228-0230
共催 中国地方弁護士会連合会 日本弁護士連合会
後援 広島県 広島県教育委員会 広島市
広島市教育委員会 公益財団法人マツダ財団
NPO法人ピピオ子どもセンター

子どもの日記念シンポジウムをきっかけに、2011年4月11日、虐待などで帰る家のない子どもの緊急避難先として、子どもシェルター「ピピオの家」が設置されました。

2016年は、この子どもシェルター「ピピオの家」が設置されて5周年となります。この間、運営・財政上の問題や子ども担当弁護士の苦闘など、様々な苦労がありました。そしてもちろん、子どもシェルターによって多くの子どもたちが安心して暮らせる環境を手に入れ、新たに巣立つこともできました。

本シンポジウムでは、初心に帰り、高校生との演劇やフリートークを通して、子どもシェルターの課題、今後の展望などを考えたいと思います。

【第1部】

午後1時30分～

舟入・沼田高校 演劇部と弁護士らによる演劇

『はばたけピピオ！パート7 ～ひなばとの星空～』

(脚本 那須 寛、蓮見和章)

～劇の紹介～

広島弁護士会所属の弁護士と舟入、沼田高校演劇部からなる「劇団ピピオ」がお送りする完全オリジナル創作劇です。毎年子どもの日記念イベントにおいて、テーマに即した劇を上演しております。

今年は、子どもシェルターをテーマとして取り上げました。今年も笑いあり、涙ありの作品となっています。劇団ピピオがお送りする「ひなばとの星空」をどうぞお楽しみください。



「はばたけピピオ！パート6より」

【第2部】

午後3時30分～

フリートーク：「10代と考える子どもシェルター」

出演者：舟入高校、沼田高校の皆さん

弁護士 武田 京子 弁護士 近藤 剛史

～2部の紹介～

フリートーク、それは筋書きのないドラマ。居場所のない子どもたちの現実や、子どもシェルターについて、高校生は何を思い、何を感じたのか。飾らない生の言葉で、本音を熱く語り尽くします。